

平成19年度関東高等学校男子バスケットボール大会 第61回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成19年6月2日(土)
本庄市総合公園体育館(シルクドーム)
Dコート 第4試合

チームA		12 - 23		チームB
拓大紅陵	73	{ 19 - 18 } { 20 - 4 } { 22 - 13 }	58	県立日川

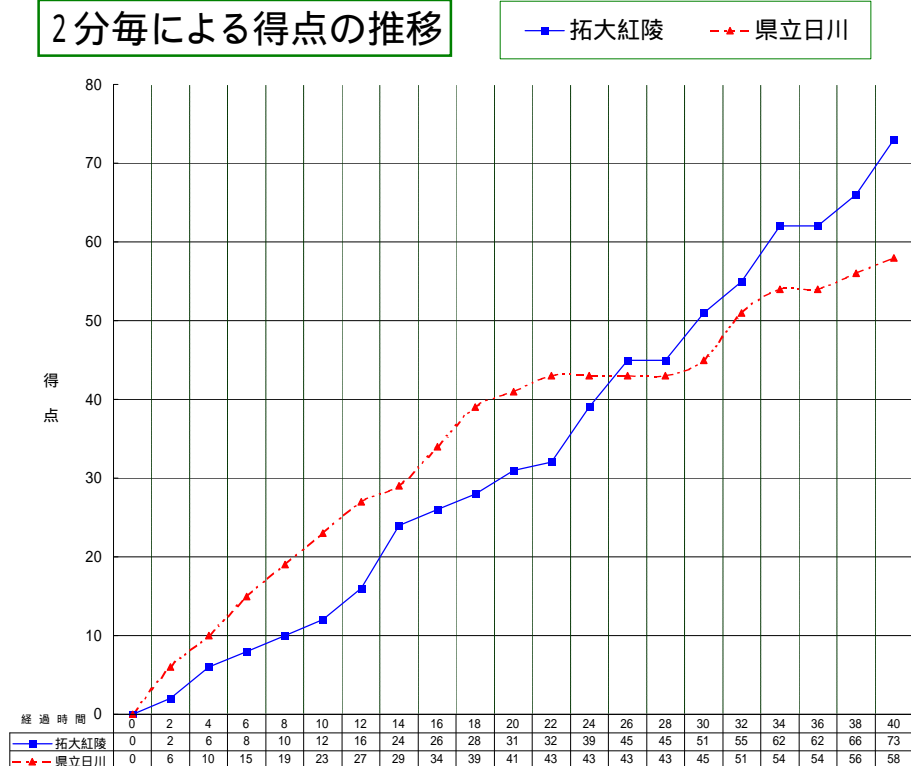
拓大紅陵

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF			
4	水野 駿也	14	2	6	4	5	0	0	3	1	2	1	0	
5	太田 和聡	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	
6	渡邊 友樹	14	0	0	7	9	0	1	2	0	7	4	3	
7	草野 和樹	13	0	0	6	12	1	2	2	4	13	1	3	
8	竹村 和希	7	1	4	2	4	0	0	0	1	3	0	1	
9	鶴巻 寿行	8	1	2	2	5	1	3	1	0	1	2	1	
10	岩野 祥吾													
11	澤田 石款美													
12	持田 大輔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13	佐久間 裕聡													
14	盛山 智貴													
15	佐藤 良介													
16	大蔵 優介	13	1	3	4	8	2	3	2	1	5	2	2	
17	余 吾建	2	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	
18	阿部 詢	0	0	2	0	3	0	0	0	1	1	0	0	
コーチ	土屋 隆幸									1	0			
		73	5	17	27	49	4	10	10	9	32	10	10	0
		確率	29.4%		55.1%		40.0%			計	41			

県立日川

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF			
4	依田 秀樹													
5	霜村 裕樹	4	0	1	2	3	0	0	2	1	4	1	4	
6	古屋 雄太	8	0	0	3	14	2	2	0	6	3	1	2	
7	小林 祐樹													
8	古屋 貴弘	8	0	5	3	11	2	2	1	0	0	5	2	
9	一瀬 裕太	17	3	5	4	11	0	0	3	0	5	3	0	
10	飯塚 勇介	10	0	0	5	8	0	0	5	0	1	1	2	
11	坂本 達哉	4	0	4	1	3	2	2	1	0	0	0	0	
12	石原 千幹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
13	林 秀亮	7	1	2	2	9	0	0	2	1	1	2	1	
14	清水 恭平	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
15	渡邊 陽輝													
16	逆瀬川 浩志	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
17	近藤 龍之介	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
18	名取 秀													
コーチ	土屋 隆幸									9	6			
		58	4	18	20	62	6	6	15	17	20	13	12	0
		確率	22.2%		32.3%		100.0%			計	37			

2分毎による得点の推移



戦評

第1ピリオド、フルコートプレスと相手の足下に入る激しいマンツーマンディフェンスの日川は身長で勝る拓大紅陵にゴール下でプレーをさせない。日川は広いスペースからのドライブインとゴールへのとびこみ、さらには#13林の3Pで主導権を奪い、残り3分で19-10、終盤には#8古屋のフリースロー、3Pでリードを奪う。

第2ピリオド、日川のハーフコート1-2-2ゾーンとマンツーマンのチェンジングディフェンスに慣れてきた拓大紅陵はミスマッチをつけて#7草野のポストシュート、#9鶴巻の3Pでリズムを掴みだし5分で26-29と3点差まで追いつける。しかし積極的にメンバーチェンジを繰り返す日川は#9一瀬、#14清水のドライブインがさえ残り1分で41-28と再び拓大紅陵を突き放す。

第3ピリオド、疲れが見え始めた日川は拓大紅陵のプレッシャーディフェンスの前にチームオフェンスを組み立てることができず、このピリオド4点しか奪えない。拓大紅陵は日川のポストトラップに対し冷静にボールを回し着実に加点すると、残り3分#16大蔵の速攻で45-45とついに追いつき、残り1分で逆転に成功する。

第4ピリオド、拓大紅陵#6渡邊がリバウンド、ゴール下での1対1と本領を発揮し日川を突き放す。日川も#9一瀬が3Pで反撃するものの勢いに乗る拓大紅陵の攻撃をしにくくできない。相手にリードされても冷静にゲームをコントロールした拓大紅陵が粘る日川を振り切って快勝した。

主審 成澤 俊幸(埼玉)

副審 阿佐美 裕樹(埼玉)

戦評 佐藤 光彦